



# 12月議会報告

平成23年11月29日(火)～  
12月16日(金)までの18日間

# 一般質問

一般会計 補正予算(第5号)

**28億25,920千円を追加、  
総額526億22,121千円**

### 予算の主なもの

- 基金管理費
- 雇用創出・産業振興基金積立金 500,017千円
- 医師修学資金貸与基金積立 150,005千円
- 環境対策費
- 住宅用太陽光発電システム設置補助金 30,000千円
- 非常備消防費
- 非常備消防費事務経費 72,960千円  
(消防団に係る公務災害補償掛け金の増)
- 小学校建設費
- 本渡南小学校舎及び体育館の耐震補強工事他 323,457千円
- 中学校建設費
- 牛深中・天草中の耐震補強工事他 449,271千円
- 文化施設費
- 天草市民センター耐震補強事業 92,000千円

※天草市民センターは耐震補強事業予定され、平成24年6月から10月まで、使用が出来ません。

## 「万次郎南瓜人気です！」



収穫保管中の万次郎

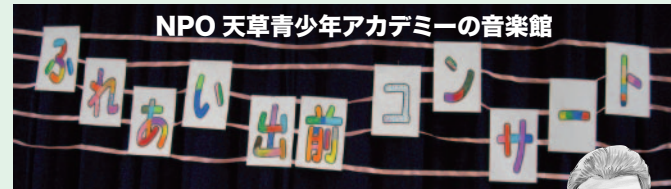
「万次郎南瓜」とは…粘質で果肉は厚く、程よく繁っています。翌春まで保存しても表皮の緑色は変わらず、新鮮味を保持します。糖度が24度と高いので人気があります。

### 関心のある方ご一報下さい。

市政だよりで数回紹介しました万次郎南瓜。今年は県下でも人気商品として、栽培が広がっています。西原村(万次郎かぼちゃ会・10ha・目標200t)長洲町(町耕作放棄地対策プロジェクトチーム・2ha)等マスコミで紹介。問い合わせも多く、やはり収益を目標に取り組まなければ、なかなか上手く行かないので、本年は早い時期(2月中旬)の勉強会を開催を予定、成果の上がった報告を参考に、耕作放棄地対策に成る様、新規加入の参加者を歓迎しています。

## 適正化計画の見直しによる 雇用枠の拡大要望への回答に感謝。

第4回の議会質問の中で、天草市は学芸員が不足しており、世界遺産や御所浦のジオパーク等の文化行政に、優秀な学芸員が必要であると要望しました。その後、00月の行政情報に、天草市職員(学芸員)採用試験の第一次試験合格者の発表が掲載されておりました、早速の対応にこの場をお借りしまして、感謝申し上げます。ありがとうございました。



## NPO 天草青少年アカデミーの 音楽館「出前コンサート」を終了

NPO 天草青少年アカデミーが主催し、天草市の後援で平成21年度年からこれまでに52校で開催してきた事業『出前コンサート』を終了しました。津軽三味線3年連続全国大会チャンピオンの踊正太郎さん、全国邦楽コンクール最優秀賞受賞尺八部門1位の尺八奏者 安田知博さんなど、障害を持ちながら、プロとして活躍している音楽家が訪れた小・中学校では、子どもたちに大きな感動と勇気を与えたことでしょう。気軽に芸術に触れるばかりでなく、生きることのすばらしさや努力することの大切さをこれからも伝えてくれることでしょう。来年度から、この趣旨に賛同していただいた天草市教育委員会で取り組んでいただくことになりました。さらによりよい出会いを期待しています。



島子小学校での出前コンサート これが最後となりました

## 1. 職員の適正化計画について

楠本

行政改革大綱での定員適正化計画により、ここ数年職員の雇用減少(毎年5～6名の採用)が、20年～30年後の職員構成はどうなっているか。達成目標を1年延長していただくだけで、その年の退職者数によりますが、約4～50名、5年に振り分けでも毎年10名前後の雇用数を増やすことが出来ます。若者の雇用の場を確保されるよう、市長にお尋ねいたします。

市長

議員ご指摘のとおり、本市の雇用状況は大変厳しいと認識している。定年退職者数を勘案して採用者数を拡大し、採用者の標準化を諮る必要もあると考えている。

### 障がい者の雇用対策

楠本

天草市の雇用率2.39は確かに国が求めている、法定雇用率は確かにクリアされておりますが、雇用28名のうち、正職員は10名で残り18名は臨時職員という、内訳であります。この状況を、だれもが誇りに思い、安心して心豊かに暮らせる宝の島実現に向け、全力で取り組んでまいります。と述べられた、安田市政の障害者対策だったら、ちょっとさびしい政策ではないでしょうか。この、天草市より小さい町や市で、職員採用に障害者枠を設けてあります。障害者と共に、人に優しい天草市を目指して、障害者雇用の手本と成るような、取り組みが出来ないものでしょうか。安田市長にお尋ねします。

市長

障がい者を対象とする、市職員の採用試験の実施は、早急に検討しなければならない課題であると考えております。

## 2. 市民の健康推進と行政の役割

楠本

天草市の国民健康保険一人当たりの医療費が、平成18年度が29万0354円、22年度は35万851円と言う事で、約60,000円増加しており、総額で○億円の増加であります。医療費減額に取り組む他の行政の先進事例を紹介いたします。

●坂戸市(埼玉県)「101,296人」  
(医療費約28億の軽減との報道)  
～地域展開方策としての坂戸市葉酸プロジェクト～  
※「葉酸」⇒ビタミンB群の一種で認知症や脳梗塞等のリスクを低減させる効果や妊婦期や授乳期に必要な不可欠の栄養素。地元企業と共同開発の「葉酸入りパン」ドレッシング・カレー等の開発その他数多くの取り組みがなされている。

●十日町(新潟県)「59,396名」  
健康とうかまち21、市総合計画に関するアンケート結果の現状値を出し、翌年度の目標値を決め取り組む努力をされている。  
・一週間に2回、30分以上運動する人の割合。27%⇒35%  
・喫煙者の割合を減少させる 33%⇒30%  
・1年に1回、健康健診を受ける人の割合を高める 82%⇒85%

●美馬市(徳島県)「32,402人」  
山間部が多く、公共交通機関がない。  
・健康増進施策『ICT活用で家に居ながら血圧や体重の変化を、安否センサーから無線でデータを送る『美馬市健康管理システム』の構築  
健康で心豊かな天草市実現のための健康対策、安田市長のお考えをお尋ねします。

市長

ただ今、楠本議員からいろいろな先進事例をお示しいただきましたが、本市と致しましても先進事例に学びながら市民の幸せは健康にあるとの考えのもと、本市にあった、より良い健康づくりに努めて参りたいと思っております。

### 要望

市民の健康対策、色々なところで実践されている取り組みを紹介しました。市民アンケートでも健康・福祉部門では、市民の高感度がうかがえますが、申し上げましたように、終わりのない戦いであり、市民の協力と行政の努力が必要であり、協働で取り組んでこそ、成果が上がるものです。「健康で心豊かな地域づくりは」私が入り組む重要なテーマであります。これからも関心を持って見守り、提言を行って生きたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。

